

2021年9月 (No.387)

主な内容とページ

大変動の半導体販売.....	1
TIのウェブ活用による直販強化策.....	2
TIは直販主力へ.....	2
商権の喪失、規模増大そして業績直撃.....	4
丸文など3社が人員削減へ.....	4
ルネサス代理店、整理へ.....	6
加賀電子は、950億円の商権喪失.....	8
10年周期と今後(SRL だより).....	11

大変動の半導体販売

半導体の市場開拓、販売で大きな変化が相次いでいる。

1. 最新のネット技術を駆使したウェブ販売がメーカーと顧客間で利用が増大。メーカーが顧客と設計や価格納期の情報を共有し、販売代理店を介さない取引が拡大する兆しをみせている。
2. 国内市場は、市場縮小、メーカー再編の進展から商社は、代理店契約の解約、直接取引への移行など相次ぎ、関連企業の業績を直撃、構造変化が加速しそうだ。
3. 内外、業種を問わず、市場開拓、販売方法は、ネット技術の進展で変化しており、半導体も例外ではない。ただし、国内は商社への依存度が高く、変化の衝撃は、大きくなりそうだ。

10 年周期と今後

米国での同時テロから 20 年の今月、様々な催しが営まれた。10 年前の 2011 年は東日本大震災、そして今年 2021 年はコロナ禍と、10 年周期で大きな惨事が起こるのは、何かがあるのだろうかと思う。周到に仕組まれた同時テロは、解明されていない背景があるとしても、震災、ウイルスは予測を超えるものがある。

同時テロに屈しないと米国は、経済安定を重視、そのための金融緩和はやがて世界金融危機につながった。大震災は原発への依存を揺るがせ、エネルギー危機さらに環境問題を深刻なものとした。コロナ禍は、何ももたらすのだろうか。コロナ対応などデジタル革命はすでに進行中だが、今は序章に過ぎないのかもしれない。

失われた 10 年あるいは 20 年のわが国だが、10 年先の展望を描きたい。これも美しい国とかおもてなしといった抽象的なものだけでなく、より具体的な姿、例えば所得、人口、外交、防衛など、対話しながら道を探り、切り開く方法が必要と思う。われわれも 10 年先の半導体を考えなければならない。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2021 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2021 年 9 月 (毎月 1 回発行) 第 32 巻 9 号 (通巻 387 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2021

SRL Monthly Report

September 2021, No.387

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)